

# ☆えんがる

## 議会だより

ミニ新幹線楽しいね。でもちょっとだけ怖かった。

～4保育所による虹のひろばでの秋の遠足～



LINE 友だち追加

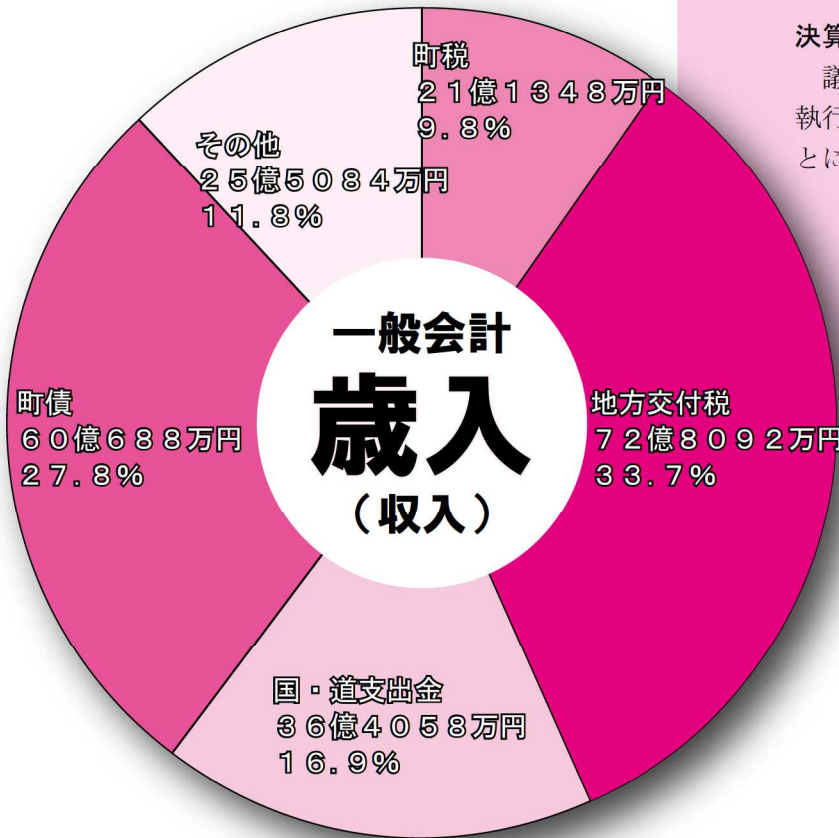
令和3年度決算審査  
審議結果（令和4年第6回定例会）  
審議結果（令和4年第5回臨時会）  
一般質問ここが聞きたい！  
常任委員会レポート  
えんがる話

# 令和3年度 決算審査

## 決算審査とは？

議会は、計上された予算が効果的に執行されたかどうかをチェックすることになっています。

このため、杉本議長と議会選出の監査委員である黒坂議員を除く14人の議員で構成した決算審査特別委員会を設置して審議しました。



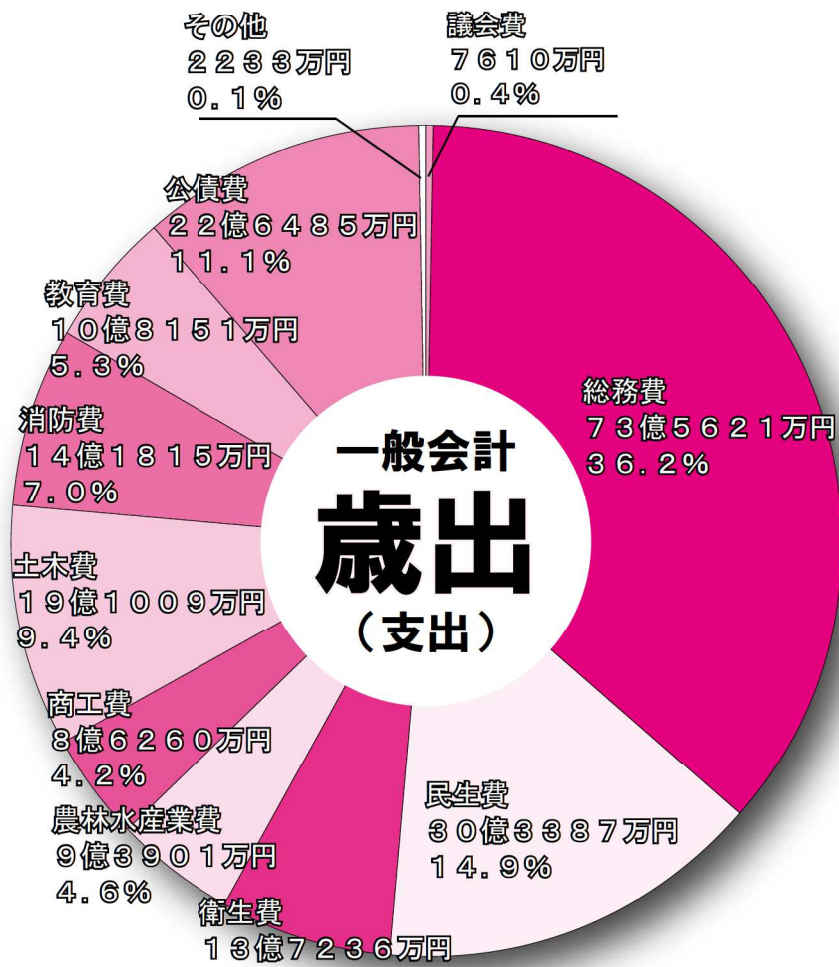
令和3年度に入ってきたお金は、  
**215億9270万円**

令和4年第6回遠軽町議会(定例会)が9月8日に召集され、9月14日までの会期(うち10日11日は休会)で開かれました。冒頭、佐々木町長から行政報告として、新型コロナウイルス感染症に関する、8月14日から1週間は町内で188人

が感染するなど過去最多を更新したことや、コロナウイルスに感染して自宅療養をされている町民に、食品や日用品の買い物代行を行うなどの生活支援に取り組んでいるとの報告がありました。町長から提出のあった主な案件は、令和3年度遠軽町健全化判断比率などの報告案件が3件あったほか、審議案件として、教育委員会委員の任命などの人事案件2件、遠軽町表彰条例に基づく表彰が12件、計画の変更が1件、条例の一部改正が7件、工事請負契約の締結が2件、令和4年度一般会計補正予算、令和3年度一般会計歳入歳出決算認定などの認定案件が7件あり、審議の結果、それぞれ原案のとおり可決、認定しました。このうち、令和3年度一般会計歳入歳出決算認定などの認定案件では、決算審査特別委員会を設置して審議し、本会議において認定しました。

| 会計名          | 入ってきたお金 (歳入) | 使ったお金 (歳出) | 差引        |
|--------------|--------------|------------|-----------|
| 一般会計         | 215億9270万円   | 203億3708万円 | 12億5562万円 |
| 国民健康保険特別会計   | 20億8547万円    | 20億7501万円  | 1046万円    |
| 後期高齢者医療特別会計  | 3億5253万円     | 3億4983万円   | 270万円     |
| 介護保険特別会計     | 20億8662万円    | 19億9606万円  | 9056万円    |
| 個別排水処理事業特別会計 | 3615万円       | 3611万円     | 4万円       |

- 認定** 令和3年度遠軽町 一般会計歳入歳出 決算認定について
- 認定** 令和3年度遠軽町 国民健康保険特別 会計歳入歳出決算認定に ついて
- 認定** 令和3年度遠軽町 後期高齢者医療特 別会計歳入歳出決算認 定について
- 認定** 令和3年度遠軽町 個別排水処理事業 特別会計歳入歳出決算認 定について
- 認定** 令和3年度遠軽町 介護保険特別会計 歳入歳出決算認定につい て
- 認定** 令和3年度遠軽町 水道事業会計決算 認定について
- 認定** 令和3年度遠軽町 下水道事業会計決 算認定について
- 認定** 令和3年度遠軽町 別会計歳入歳出決算認定 について
- 認定** 令和3年度遠軽町 定について



令和3年度に使ったお金は、  
**203億3708万円**

## 議会費7610万円の 使いみちは？



議員報酬及び期末手当等 6923万円

主に16人の議員の報酬と年2回の期末手当として支出しました。なお、報酬月額は次のとおりです。

|               |        |
|---------------|--------|
| 議長            | 29万5千円 |
| 副議長           | 23万5千円 |
| 常任委員長・議会運営委員長 | 21万2千円 |
| 議員            | 20万1千円 |

議会広報事業 128万円

「えんがる議会だより」を4回(各9千部)発行するために支出しました。

議会活動事業 52万円

主に議員の出張旅費や議長交際費として支出しました。

議会一般経費 507万円

主に会計年度任用職員の人件費や各種団体への負担金として支出しました。

# 令和3年度 決算審査

私はここに注目した

ここでは、決算審査特別委員会の中で出された質疑のうち、各委員が特に注目した事項の一部を要約してお知らせします。

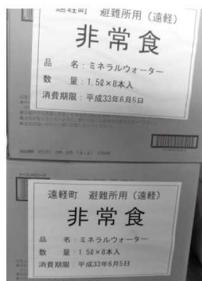
防災対策事業

平時が有事・備えは



今村 則康

**問** 避難所運営等に女性の視点を取り入れた、防災対策全般に資する必需品等を継続して取得すべき。



非常食なども備蓄

**答**

避難所で授乳などに使用できるプラライベートルームや衛生用品を備蓄しています。今後も継続して備蓄していきます。

英語指導助手配置事業

事業の具体的な成果は



佐藤 昇

**問** 実際に英会話ができるようになる事が一番の目的だが、目に見えるような成果は上がっているのかも含め、どのように評価しているか。また今後の取り組みは。



指導助手として着任したマギーさん

**答**

英語担当教員補助として授業の質を高め、今後も効果的な授業づくりを目指します。

職員住宅管理事業

入居率が減少している要因は



佐藤 登

**問** 入居率が年々減少している要因は何か。また、入居率向上のためにどのような対策を講じているのか。



老朽化も進んでいる職員住宅

**答**

職員数の減少、また職員それぞれの住宅への考え方が異なるものと考えます。

保健体育各種大会参加費助成事業

経済的負担の軽減を

**問**

全国大会に出場する個人や団体への助成について、個人の限度額に対し団体の限度額が不整合なので、再検討して見直しを図るべき。



今村 則康



町内ではさまざまな団体が全国大会に出場している

**答**

過去に複数回の見直しを行っており、社会情勢や財政状況等を勘案し、必要に応じて見直してまいります。

教育振興一般経費

GIGAスクールサポーターについて

**問**

令和2年度に小中学生全員にデジタル端末が用意され、令和3年度はGIGAスクールサポーターが配置されたが、その活動状況及び成果は。



佐藤 和徳

**答**

教員研修及び端末マニユアル作成等の支援により、端末利活用の促進が図られています。GIGAスクールサポーターとは、学校に配置され、ICT環境整備の設計などを行うICT技術者のこと。

### 生活安全灯のLED化の効果は



渡部 正騎

**問** 生活安全灯の電気代が昨年度より多くなっている。電気代高騰のためなのかLED化の効果がでないように感じるが理由は。



電気代高騰も要因

**答** 商店街振興会からの移管分及び電気代高騰によるものと考えております。省エネ化及び害虫対策を進めるため、計画的なLED化を図ってまいります。

### インフルエンザワクチンの助成は



戸松 恵子

**問** 令和3年度は4519件行っているが、助成対象年齢や助成金額は。



流行前の接種が重要

**答** 対象は①65歳以上の方②特定の疾病のある方③60歳以上65歳未満の方④生活保護世帯の方で、①③④は接種料3000円の助成、②は接種料全額を助成してまいります。

### 町民に良好な視聴環境を



阿部 君枝

**問** 聴取無線名無線社名施設の送信アンテナ設備修繕が発生し補正予算を組んでいるが、機材の耐用年数等を考慮した予算計上をすべきでは。

**答** 年1回の保守点検の指摘事項については、計画的に整備を進めてまいります。※聴取施設とは、山間部など地形的な要因で放送電波が届かずテレビが映らない地域で、その難視聴を解消するための無線方式と無線方式がある。

### 高齢者の社会参加の場の提供について



渡辺 清夏

**問** 令和3年度で高齢者センター管理事業がなくなったが、今後の高齢者の社会参加活動はどのようになるのか。また指導員を新たに配置することは可能か。

**答** 高齢者センター廃止に伴い、木工は木楽館及びピノキオハウスでの受入れ、陶芸はメトロプラザに移転してまいります。今後は、それぞれで指導員などを配置して指導に当たることになります。

### 助成利用者数について



白幡 隆一

**問** 助成実績が72%であり、利用率の増加に向けての方策は。



今後の実施は今のところ未定なので注意を

**答** 現時点で今後の実施については未定ですが、実施する場合は個別通知に加え広報などで事業の周知を図ります。

### 蜂の巣の駆除を民間に委託しては



秋元 直樹

**問** 近年の決算状況を見ると、蜂の巣の駆除件数が右肩上がりが増えていいる。危険な作業であり、職員の負担も著しいことから、今後において民間への委託も検討を進めたい。

**答** 職員の負担が大きくなっていることから、民間委託を含め、蜂の巣駆除の対象者、期間、金額などについて検討してまいります。

# 令和3年度 決算審査

私はここに注目した

ここでは、決算審査特別委員会の中で出された質疑のうち、各委員が特に注目した事項の一部を要約してお知らせします。

介護人材育成事業

さらなる人材不足解消のためには



白幡 隆一

**問** 人材確保、資質向上に一定の効果ができていると考えるが、さらなる人材不足解消のための方策は。

**答** これまで「初任者研修」のみを対象としていましたが、令和2年度から「実務者研修」にも対象を拡大し、引き続き町内の介護等に従事する人材の定着並びに資質向上に向け事業を推進します。

町営バス運行事業

予算額と決算額の差はなぜか



佐藤 登

**問** バス運行業務委託費が予算に対して決算が64.2%と大きく乖離したことについては、予算編成上に問題がなかったのか？

**答** 積算基準に基づき適正に積算しており、入札の執行結果によるものです。



町営バス運行の委託額は入札で決定

乳幼児健診事業

健診未受診の理由とその後のフォローは



戸松 恵子

**問** 4か月健診と1歳6か月健診の受診者が100%ではないが、その理由とその後のフォローは。



保健師の訪問等によりフォロー

**答** 健診時に受診できない児の体調不良等のため受診できない場合がありすが、保健師による訪問等で個別対応しております。

保育所運営事業

より安価に食材の調達方法を検討を



渡辺 清夏

**問** 子どもたちの成長や食育の観点からも、品数や種類を増やすことを目的に同じ食材でも安価に購入できる方法を探すべきでは。



町内業者の育成にも配慮し、より良い方法を

**答** 町内業者を優先的に、見積価格の聴取を行うなど選定を進めてまいります。

用排水路整備事業

用水路の安全安心な管理を



竹中 裕志

**問** 近年のゲリラ豪雨などの異常気象に対し、農地や近隣地の安全安心な生活環境改善につながる本事業の適正管理は今後も必要と考えるが。



用排水路の適正な管理は防災にもつながる

**答** 用排水路の管理は、今後も適正に管理してまいります。



606席の固定席を有する芸術文化交流プラザ（メトロプラザ）も令和3年度に完成した。

商店街助成事業

店舗近代化補助について

**問** 昨年度、コロナ禍でも新規の申請が増えており事業としては有効だが、今後返済が始まる。コロナの状況にもよるが、懸念される事はないのか。



山谷 敬二



懸念される事態にならないよう配慮を

**答** 国・道など利用いただきながら、町としても事業継続に懸念の無いよう配慮したいと思います。

物産振興事業

新たな地元の特産品開発を

**問** この事業は本町の地場産業の振興を図るため、また本町のPRを兼ねた特産品の開発を支援する事業だが、今後はどうのように活性化を図るのか。



竹中 裕志



引き続き、特産品の開発支援を

**答** 今後も引き続き、特産品開発などの支援を行い物産振興を図ってまいります。

森林・林業活用事業

ビレッジプラザで使われた返還材の活用は

**問** オリンピック選手村で使われた町有林の材（トドマツ）が返還されているが、今後のオリンピックレガシーとしての活用をどのように考えていくのか。



前島 英樹



家庭学校敷地内にある展示林

**答** 今後、公共施設等への活用が検討できるものと考えております。

令和4年  
第6回定例会  
9月8日～14日



**人事**

**同意**

人権擁護委員の  
推薦

欠員が生じた後任の委員として

野村 克 仁 氏  
(生田原安国)

の推薦に同意しました。

**同意**

教育委員会委員の  
任命

令和4年11月8日をもって任期満了となる委員として

横田 昌 弘 氏  
(白 滝)

の任命に同意しました。

**計画変更**

**可決**

遠軽町過疎地域持  
続的発展計画の変  
更

更

**主な条例改正**

**可決**

例の一部改正

遠軽町職員の育児休業等に関する条例の改正  
国家公務員の措置に鑑み、職員の育児休業の取得回数制限を緩和するものです。

**可決**

遠軽町手数料条例の一部改正

長期優良住宅建築等計画認定申請手数料の規定を整理するものです。

**可決**

例の一部改正

遠軽町生田原コミュニケーションセンター条例の改正  
社会情勢の変化に伴い、使用料を改定するものです。

**可決**

改正

遠軽町定住促進住宅管理条例の一部改正

新町定住5号団地23棟の整備に伴い、家賃及び駐車場使用料を定めるものです。

**可決**

遠軽町議会議員及び遠軽町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

遠軽町議会議員及び遠軽町長の選挙における選挙運動の公費負担に係る限度額を改定するものです。

**補正予算**

**可決**

令和4年度遠軽町一般会計補正予算(第5号)

・防犯推進事業 250万円  
(主なもののみ)  
街頭防犯カメラ設置に係る経費です。

・新型コロナウイルス感染症対策事業 2687万円

コロナ禍における物価高・原油価格高騰等に

より、経済的に影響を受けている町内の事業者などの支援に充てるものです。

・新型コロナウイルスワクチン接種事業 7517万円

新型コロナウイルスワクチン接種に必要とする、人件費やワクチン接種業務の委託料等の経費です。

・定住促進住宅管理事業 2504万円  
定住促進住宅の改修に係る経費です。

**意見書**

**可決**

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書  
提出者等 黒坂議員 ほか4名

社会資本整備を取り巻く環境は、今後一斉に更新期を迎える公共施設の老朽化など、さまざまな課題を抱えていることから、国と地方の適切な役



# 審議結果

**可決** 遠軽町表彰条例により、次の方を表彰することについて、可決しました。

| 区分       | 住所         | 氏名        | 公職名または寄附物件        | 要件                                    |
|----------|------------|-----------|-------------------|---------------------------------------|
| 自治<br>功労 | 丸瀬布新町      | 戸井佳穂氏     | 遠軽町選挙管理委員会委員      | 12年以上選挙管理委員会委員の職にある方またはあった方           |
|          | 大通北9丁目     | 後藤忠幸氏     | 遠軽町交通安全指導員        | 20年以上町の条例等の規定に基づく審議会等の委員の職にある方またはあった方 |
|          | 生田原安国      | 米堂征男氏     | 遠軽町公営住宅入居者選考委員会委員 |                                       |
|          | 東町2丁目      | 藤田琴絵氏     | 遠軽町社会教育委員         |                                       |
| 社会<br>功労 | 東京都杉並区     | 和久井勇氏     | ふるさと振興資金          | 公共のため30万円以上の金品を寄附した個人                 |
|          | 湧別町        | 遠軽舗道株式会社  | 芸術文化交流プラザ開館記念事業資金 | 公共のため100万円以上の金品を寄附した法人または団体           |
|          | 大通南1丁目     | 遠軽信用金庫    | 芸術文化交流プラザ備品       |                                       |
|          | 南町3丁目      | 遠軽町建設業協会  | 芸術文化交流プラザ備品       |                                       |
| 東京都千代田区  | 株式会社工営エナジー | まちづくり振興資金 |                   |                                       |
| 消防<br>功労 | 東町3丁目      | 長野晴美氏     | 遠軽町消防団員           | 消防団員として20年以上勤続した方（在職中）                |
|          | 丸瀬布水谷町     | 新垣健次氏     | 遠軽町消防団員           |                                       |
|          | 白滝         | 的場秀太氏     | 遠軽町消防団員           |                                       |

**可決** 加齢性難聴への補聴器購入のための

子どもたちの平等に教育を受ける権利を保障するために、義務教育費国庫負担制度の堅持、当面負担率1/2への復元、義務教育費無償、教職員の超勤・多忙化解消の実現など、教育予算の確保・拡充を求めるもの。  
提出先 衆・参両議院議長、内閣総理大臣、関係省庁各大臣

**可決** 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充を求める意見書  
提出者等 佐藤昇議員ほか4名

割分担のもと、防災・減災、国土強靱化に必要な予算を安定的かつ継続的に確保することを求めるもの。  
提出先 衆・参両議院議長、内閣総理大臣、関係省庁各大臣

**可決** 令和4年度遠軽町一般会計補正予算（第4号）  
（主なもののみ）  
・新型コロナウイルス感染症対策事業 1億2038万円  
・住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業 900万円



国の助成を求める意見書 提出者等 戸松議員ほか3名  
加齢性難聴者が増加している中、高齢者が経済的理由によって補聴器の購入困難となり、日常生活や社会的活動に制約が加わることがないよう、補聴器購入の助成を行うよう国に求めるもの。  
提出先 衆・参両議院議長、内閣総理大臣、関係省庁各大臣

全会一致により可決・認定・同意・採択した議案

第5回臨時会

- ・ 令和4年度遠軽町一般会計補正予算（第4号）

第6回定例会

- ・ 人権擁護委員候補者の推薦について
- ・ 教育委員会委員の任命について
- ・ 表彰について
- ・ 遠軽町過疎地域持続的発展計画の変更について
- ・ 遠軽町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- ・ 遠軽町手数料条例の一部改正について
- ・ 遠軽町生田原コミュニティセンター条例の一部改正について
- ・ 遠軽町町営住宅管理条例の一部改正について
- ・ 遠軽町定住促進住宅管理条例の一部改正について
- ・ 遠軽町過疎地域対策のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について
- ・ 遠軽町議会議員及び遠軽町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
- ・ 町道路線の認定について
- ・ 工事請負契約の締結について（令和4・5年度子ども広場整備工事（機械設備））
- ・ 工事請負契約の締結について（令和4・5年度子ども広場整備工事（電気設備））
- ・ 令和3年度遠軽町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- ・ 令和4年度遠軽町一般会計補正予算（第5号）
- ・ 令和4年度遠軽町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ・ 令和4年度遠軽町下水道事業会計補正予算（第1号）
- ・ 令和3年度遠軽町一般会計歳入歳出決算認定について
- ・ 令和3年度遠軽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・ 令和3年度遠軽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- ・ 令和3年度遠軽町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・ 令和3年度遠軽町個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・ 令和3年度遠軽町水道事業会計決算認定について
- ・ 令和3年度遠軽町下水道事業会計決算認定について
- ・ 令和4年度遠軽町一般会計補正予算（第6号）
- ・ 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書
- ・ 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充を求める意見書
- ・ 加齢性難聴への補聴器購入のための国の助成を求める意見書

賛否が分かれた議案

なし



# 一般質問

## ここが聞きたい！



**渡部 正騎 議員 12**

ガバメントクラウドの移行に向けた計画や方針は



**佐藤 昇 議員 13**

障がい者移動支援事業の充実を



**阿部 君枝 議員 14**

男性トイレにサニタリーボックスの設置を



**白幡 隆一 議員 15**

物価の高騰に伴う低所得世帯への支援について

令和4年第6回町議会（定例会）の一般質問には4人の議員が登壇し、町政に対するさまざまな課題について、現状や今後の方向性を町長などに問い質しました。

一般質問とは、議員が町長や教育長などに、町政に関するさまざまな課題について、考えを聞いたり提案をしたりするもので、質問と答介がかみ合うように全文通告制を採っています。

なお、再質問からは一問一答方式で行い、回数に制限なく質問時間を一議員30分以内としています。

# ガバメントクラウドの移行に向けた計画や方針は

町長「令和7年度の期限までに移行すべく準備を進めていく

※ガバメントクラウド 政府の情報システムについて、共通的な基盤・機能を提供する複数のクラウドサービスの利用環境のこと。

**問**

令和2年12月に閣議決定した「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」の中で

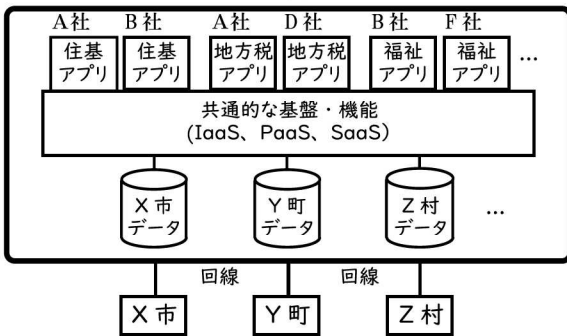
政府は自治体システムの共通化・標準化の方針を示し、令和7年度末までに各自治体が※ガバメントクラウドへ移行するよう求めており、今までは自治体独自でシステムを構築していたものが、児童手当や固定資産税などの標準化対象の20業務についてはシステムの共通化が図られる予定です。ガバメントクラウドへの移行に際し、推進体制の立ち上げ、現行システムの概要調査、標準仕様書との比較分析などが示されておりすが、それ

らの計画や方針は。

**答**

令和3年7月に総務省から示された「自治体情報システムの標準化・共通化に係る手順書」においては、移行

ガバメントクラウドのイメージ図



に際する作業項目として「推進体制の立ち上げ」「現行システムの概要調査」「標準仕様との比較分析」などがモデル的に示されており、各自治体に対しては、それぞれが置かれた状況を踏まえ取組を進めるよう示されて

おりますが、これらの作業項目は必ずしも実施しなければならぬものではなく、当町では、国などから示される情報に基づき、現行システムとの比較分析や業務内容の見直しなどを適宜実施し、

令和7年度の期限までに移行すべく準備を進めていく方針です。

**問**

ガバメントクラウドを導入することで情報システムの運用経費等の削減が期待され、国は平成30年度比で少なくとも3割の削減を目指すとのことですが、町の見通しは。

**答**

災害時でも対応できると考えております。

**問**

ガバメントクラウドに移行すると、オンラインでの作業が前提となりますが、災害発生時でも問題なく標準業務が行えますか。

**答**

現状では未確定部分が多いこともあり、どの程度削減できるかは未定です。

**問**

移行に際し、自治体内でもIT人材の確保と育成が必要とさ

**答**

各ベンダーからの情報収集に努め、今後の状況を注視しつつ、移行に向けて早めの対応をしていきたいと考えております。

**問**

令和7年度に各自自治体が駆け込みで移行することが想定され、各ベンダーに作業が集中することから早めの対応は。

**答**

現段階では現在の職員で対応できるものと考えております。



渡部 正騎 議員

# 障がい者 移動支援事業の充実を

町長～自立支援協議会で  
継続して議論したい

### 問

障がい者支援法に  
基づいた地域生活  
支援事業の一つとして、  
現在中軽度の障がいのある  
方が外出する際、ヘル  
パーが付き添う「移動支  
援事業」が行われていま  
す。

しかし、障がい者の  
方々のニーズに応え、事  
業をしやすい環境づくり  
という面では必ずしも十

分ではないと考えますの  
で、3点について見解を  
伺います。

①移動支援にかかる町の  
委託料の単価は、身体介  
護なしで1時間1500  
円の設定となっており、  
身体介護ありの4割弱に  
とどまっています。

身体介護あり、なしに  
関わらず、ヘルパーにか  
かる負担に変わりはない  
ません。

今、介護人材の不足が  
叫ばれている中であっ  
て、ヘルパーなどの処遇  
改善と将来的な介護人材  
の確保、事業をしやすい  
環境づくりという観点か  
ら、「身体介護なし」の  
単価について引き上げな  
どの見直しを図るべきと  
考えるが。

②移動支援にかかる時間  
数の換算は、町の見解で  
はあくまでも移動時間の  
みとなっており、障がい  
者の方に対する目配り、  
気配りのために付き添う



自立支援協議会は、地域の課  
の関係者がその地域の福祉  
問題を共有し、地域整備を  
サービス基盤を整備してい  
く役割を担っている。

時間は含まれておりませ  
んの、この時間を含め  
て換算すべきと考える  
が。

③事業所等が実施する障  
がい者等の日常活動の場  
としての社会交流等の事  
業については、町の見解  
では移動支援の対象外と  
いうことですが、自立・  
社会参加を促すという観  
点から移動支援の対象と  
すべきと考えるが。

### 答

①の本町の設定単  
価は他自治体と比  
較しても決して低くはあ  
りません。

移動支援事業は、平成  
30年に移送加算の設定に  
ついて検討し、自立支援  
協議会に諮った経過が、

また②③は令和元年に同  
協議会で議論した経過が

それぞれあり、いずれも  
その時点では結論が出な  
かったことから、継続し  
て検討していくこととさ  
れ現在に至っています。

コロナ禍で検討が進ん  
でいない状況にあります  
が引き続き同協議会と連  
携を図りながら検討を進  
めていきたいと考えてい  
ます。

### 問

自治体によって  
は、燃料代を  
支給している所もある。

今、燃料代の高騰など  
物価高の状況にあり、当  
面の措置としてそうした  
ことも考える必要もある  
のではないかと。

### 答

仮に単価を変える  
とすれば、さまざま  
な議論を経たうえで決  
定されるのが必要だと考  
えています。

さらに、福祉だけでな  
く他の分野も含めてト  
ータルで考えていかなく  
はならないと思ってい  
ます。



佐藤 昇 議員

# 男性トイレに サニタリーボックスの設置を

町長へ現状での設置は

考えていません

## 問

前立腺がんや膀胱がんを患った男性らが、使用済みの尿漏れパットなどを捨てる場所に困るケースが生じていることを報道で知りました。

日本トイレ協会のアンケートによると、尿漏れパットや紙パンツを使う男性の約7割が「捨てる場所に困った」と回答。国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）



サニタリーボックスは、使用済みの生理用品を水洗トイレにそのまま流すと詰まってしまうため、それらを捨てるために設置されている。

にはトイレに関して「女性や女の子、弱い立場にある人がどんなことを必要としているのかについて、特に注意する」という項目があり、捨てる箱を設けるのが当たり前になってほしいと協会はこの問題をSNSなどで発信しています。

所管施設調査で男性トイレを調査したところ、サニタリーボックスの設置は確認できませんでした。そこで次の点について伺います。

① 町有施設において多目的トイレがある施設数とサニタリーボックスの形状を伺います。

② 多目的トイレのない施設が多く、サニタリーボックスのない施設への今度の対応を伺います。

また、町有施設は不特定多数の町民が利用することから、男女を問わずおむつが捨てられるよう改善する考えはありませんか。

## 答

① 町有施設でトイレを設置している施設は117施設あり、そのうち多目的トイレが設置されているのは53施設です。サニタリーボックスの形状は、主に箱型



阿部 君枝 議員

## 問

サニタリーボックスに一般ごみを捨てる人がいるとのこと

か、三角柱型の蓋つきで、20cm程度のもので設置しています。

② 町有施設のトイレにおむつが捨てられるサニタリーボックスを設置する事で、本来自宅で処理すべきおむつが持ち込まれることが懸念されます。

また、ごみの不法投棄問題も一般的にあることから、それらの課題や社会情勢、利用者モラルを注視していきたいと考えており、現状での設置は考えていません。

## 答

町としてもサニタリーボックスの必要性は認識しています。しかし、本来入れるべきでないごみが入れられているなど、ごみの不法投棄で清掃作業に苦慮しており、現状では設置を考えていません。

ですが、それとこの問題は別です。本当に困っている人が安心して外出できる様に、使う人の立場で考えるべきではありませんか。

まずは、本庁舎の男子トイレにサニタリーボックスを置く考えはありませんか。

## 物価の高騰に伴う 低所得世帯への支援について

町長～国と道の動向を見ながら  
状況に応じて検討をしたい

### 問

食品や光熱費などの物価の高騰により、町民の生活は日々厳しさを増しており、先が見通せない状況が続いています。

特に遠軽町の全世帯の35%を占める所得120万円以下の世帯では、食品の値上げが家計を直撃し、厳しい生活実態にあると  
の声が多く寄せられています。

ます。

冬場に向かい燃料代の高騰への不安、年越しへの不安を抱える世帯への支援について、町としてどのような対策を考えているか伺います。

### 答

原油価格の高騰等により、光熱水費や食費等、さまざまな家計支出が増加していくことが思料されます。

特に高齢者や障がい者世帯は、年金などの収入が定額で固定されている世帯が中心で、就業等による収入増も困難なケースが想定され、物価高騰による影響が特に大きいと考えています。

このような物価高騰対策は、物価に応じた年金額の支給増など、本来は国が行うべきであると考えていますので、町として対策を講じる場合は、国や道の動向を注視しながら、高齢者世帯等に対

### 問

低所得世帯の厳しさは、私たちの想像以上と思われま

す。9月に約2500品目、10月は6500品目の食品が値上げされると



燃料ばかりでなく、食品などあらゆる物価が高騰する中、物価高や原油高騰に対する町の支援は、国や道の動向を注視しながら、その時の状況に応じて考えていくこととなる。

聞いており命に関わる問

題でもありません。町として、お金だけではない支援のアイディアなどは持っていないか。

### 答

物価高騰や原油高への対策として、町としても特定事業者への支援や、町民に対してはプレミアム付商品券の発行などの対策を随時行っています。

また、国の方でも低所得者支援などの案も出ているので、国の動向を見ながら、町として対応していきたいと考えています。



白幡 隆一 議員

総務・文教  
常任委員会

## 吹奏楽のまちから 全国へ

吹奏楽の全国・全道大会出場に対する支援

総務・文教常任委員会は、令和4年7月から9月の間、計4回開催し、執行機関から議会に提案される議案の説明をはじめ、計28件の案件について審議した。

今号では、審議した案件のうち吹奏楽やマーチ

ングなどの大会で、全国や全道大会への出場を決めた各学校への支援について報告する。

### 遠軽高校吹奏楽局が 全国大会へ出場

遠軽高校吹奏楽局が10

月23日に名古屋市中で開催される全日本吹奏楽コン

クールに北海道代表として出場することとなったことから、派遣費を支援することとした。支援の限度額は、文化振興事業費交付基準に基づき、全国大会に出場する団体の場合は80万円だが、全日本吹奏楽コンクールなどの特定の大会

の場合は300万円となることであった。このほか、クラリネットやホルンなど、楽器の一部を更新する費用として500万円も措置し、同校の全国大会出場を支援した。

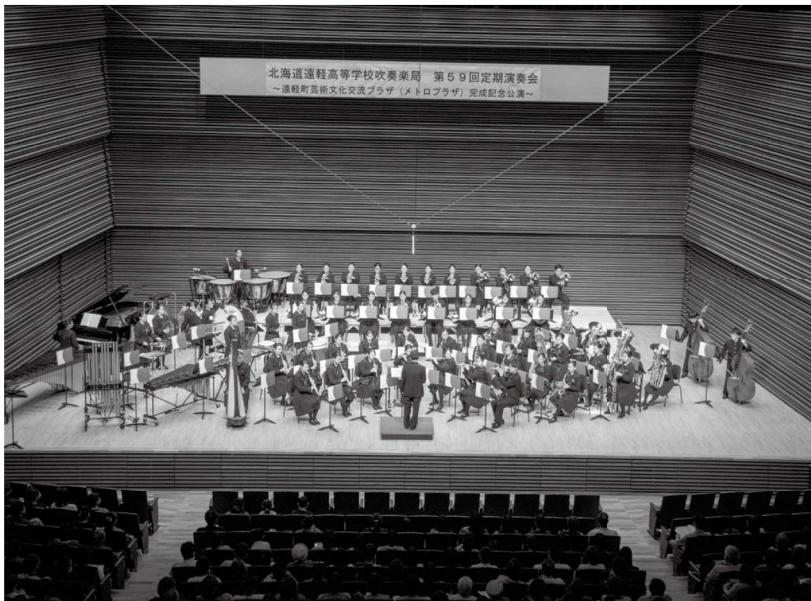
### 町内小中学校の 吹奏楽部等も活躍

南中学校が府中市で開催される東日本学校吹奏楽大会に出場するほか、遠軽小学校、東小学校、南小学校が苫小牧市で開催される北海道小学生バンドフェスティバルに、遠軽中学校が同じく苫小牧市で開催される北海道マーチングコンテストに出場することとなったことから、派遣費用を支援するため、376万5千円を追加で予算計上することとした。

なお、どちらも9月定例会において補正予算として提案され可決した。

### 主な審議事項

- ・ 遠軽町行政改革推進委員会について
- ・ 遠軽町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- ・ 遠軽町議会議員及び遠軽町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
- ・ 遠軽町過疎地域対策のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について
- ・ 令和3年度町税等納入状況について
- ・ 遠軽町芸術文化交流プラザ開館記念事業について
- ・ 補正予算について
- ・ 所管施設調査について
- ・ 所管事務調査について



全日本吹奏楽コンクールへの出場を控え、芸術文化交流プラザ(メトロプラザ)で演奏する遠軽高校吹奏楽局の生徒たち





# 就学前の子どもたちの遊び場として

子ども広場の整備

民生常任委員会は、令和4年7月から9月の間、計5回開催し、執行機関から議会に提案され

## 主な審議事項

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種について
- ・ 生殖補助医療交通費助成事業について
- ・ マイナンバーカード臨時窓口開庁について
- ・ 北海道子育て世帯臨時特別給付金の実施について
- ・ 遠軽地区都市再生整備計画事業子ども広場整備工事について
- ・ 補正予算について
- ・ 所管施設調査について
- ・ 所管事務調査について

**小さな子どもも遊べる施設に**  
施設の整備については、2月に開催した委員会で説明を受けていたが、その後、子ども子育て会議からの意見を受け、一部を見直すこととしたため、変更内容の説明があった。

このほかにも、屋内を土足禁止としたことやクッションフロアを採用するとのことであった。

当初は、建物の吹き抜けを活用して2階から滑り降りるらせん状の滑り台やネット遊具の設置を予定していたが、これは5〜6歳児が利用のメイソンとなるスリルある遊具であるという指摘を受け、さらに小さな子どもが遊べる遊具として、中段の位置からでも滑り降りることができる滑り台を設置し、クライミングウォールも一体化した遊具に変更した。

今号では、審議した案件のうち旧地ビルレストラン「ふぁーらいと」を活用した子ども広場の整備について報告する。

る議案の説明をはじめ、計22件の案件について審議した。

## 工事の期間は？

工事は令和4〜5年度の2か年の継続工事として行われ、令和5年11月の完成をめざしている。

## 注目に



## 問

この施設は、6歳までの未就学児が

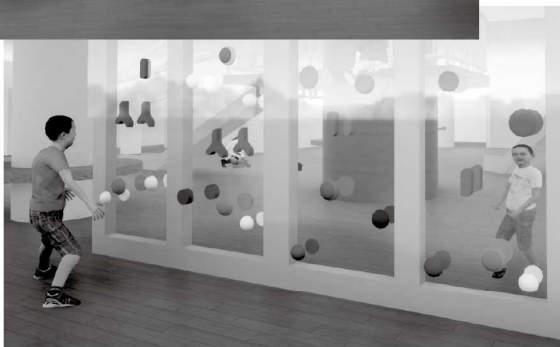
## 答

施設の利用は、保護者の同伴が原則と考えており、その保護者の管理のもと、小学生も利用できるように考えたい。

対象ということだが、小学生の兄や姉と一緒に遊びに来た場合において、小学生が遊んでも構わないのか？



↑ 中段からでも降りられる滑り台のイメージ図  
クライミングウォールのイメージ図 →





# 経済的に 影響を受けている 事業者を支援

新型コロナウイルス感染症対策等に係る経済対策

経済常任委員会は、令和4年7月から9月の間、計4回開催し、執行機関から議会に提案される議案の説明をはじめ、計21件の案件について審議した。

今号では、審議した案件のうちコロナ禍における物価高・原油価格高騰等により、経済的に影響を受けている町内の事業者への支援対策について報告する。

## 主な審議事項

- ・ 遠軽町生田原コミュニティセンター条例の一部改正について
- ・ 遠軽町手数料条例の一部改正について
- ・ 遠軽町定住促進住宅管理条例の一部改正について
- ・ 遠軽町町営住宅管理条例の一部改正について
- ・ 町道路線の認定について
- ・ 令和3年度遠軽町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- ・ 補正予算について
- ・ 所管施設調査について
- ・ 所管事務調査について



午後7時以降に開店する飲食店やハイヤー等を支援

### 物価高・原油価格高騰 等特定事業支援金

コロナ禍における物価高・原油価格高騰等により、経済的に影響を受けているハイヤーなどの交通事業や、運送事業、クリーニング事業を営む

### ハイヤー・飲食チケット 発行事業補助金

36事業者を対象に、常時使用する従業員数と、事業に使用する自動車や設備の台数に応じて支援金を支給するもので、1100万円を措置した。

コロナ禍における物価高・原油価格高騰等により、経済的に影響を受けている事業者の利用促進を図るため、ハイヤー及び午後7時以降に開店する飲食店で使用できるチケットを町民に無償で配

### 消費喚起事業への 支援

遠軽商工会議所及びえんがる商工会が行う「消費喚起事業「レシートまつり」」に対して支援を行うため、100万円を措置した。

この支援金と補助金は、9月定例会において補正予算として提案され可決した。

なお、ハイヤー・飲食チケット発行事業補助金のチケット配布は10月下旬で完了予定だが、使用期間は12月31日までなので、まだ使用していない方は忘れずに使用を。



# 今、地方議会が 取り組むべきこと

辻弘之登別市議会議長を講師に招いた議員研修会

9月30日、芸術文化交流プラザ（メトロプラザ）において「遠軽町議



議会改革が進む登別市議会の取り組みを紹介する辻議長

会議員研修会」を開催した。講師には、登別市議会議長の辻弘之氏を招き「今、地方議会が取り組むべきこと」と題し、地方自治法を踏まえた議員の権限の説明や、実際の登別市議会の議会改革の取り組みが紹介された。このうち、登別市議会の議会改革の取り組みについては、同市議会が早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度で全国2位になり、「オンライン委員会」「議会BCPの策定」「ハラスメント禁止規定」は議会改革の必須項目であると述べられ、町議会でも議会改革



7月6日、札幌コンベンションセンターで「令和4年度北海道町村議会議員研修会」が開催され、15人の町議が出席した。

## 令和4年度 北海道町村議会議員研修会

を行う上で優先的に取り組むべきではないかと感じました。また、登別市議会では「オンライン委員会」を実施しており、実施するに当たっては検討部会を立ち上げ、オンライン委員会を実施できるようにした後、実際に出席のためオンライン委員会を出

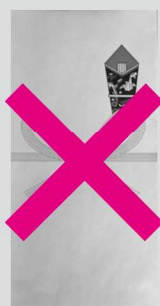
席した例もあり、早急に制度改正して良かったと述べていた。研修後の意見交換では、議会改革で苦労したことなどが講師から述べられ、同じ議員目線で共感できることも多く、今後の町議会の改革や活性化のヒントを頂けたのではないかと感じた。

講師は政治ジャーナリストの泉宏氏で「参議院選最終情勢分析と選挙後の政局展望」と題して講演。まず過去の総裁選の話から始まり、解散の裏話、そして参議院選挙の予測など国政にかかわる幅広い内容の講演であった。私たちにとっては、国の方向性や政策を深く知り、議会の円滑な運営と地方自治の振興発展に寄与する非常に有効な研修となった。

### 寄附の禁止

町議が、選挙区内の人に寄附を行うことは法律で禁止されています。

また、有権者が寄附を求めてもいけませんので、ご理解願います。



LINE 公式アカウント

# 友だち募集中

@eog9634i

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください

「能く働き、能く食べ、能く眠る」という

規則正しく健康的な生活が大事

家庭学校は、主に児童相談所の措置として、非行や、不登校などの生活の課題を抱えた子どもたちが入所してくる男子のみの施設で、東京オリンピックで有名になった展示林も含めて439ヘクタール（札幌ドーム81個分）の広大な敷地の中にあります。民間の施設として自ら

北海道家庭学校の  
特徴は？

創設者の留岡幸助が大正3年に感化教育事業として、豊かで厳しい自然を求めて留岡地域に分校と農場を開設しました。それが現在の児童自立支援施設「北海道家庭学校」の起源です。

第10代校長の清澤さんに家庭学校の取組みやさまざまな思いなどを伺ってきました。



北海道家庭学校  
校長 清澤 満 さん

収益を得る努力をしており、敷地内の牧場で飼育している乳牛の生乳出荷のほか、バター・チーズの製造販売や山林の立木販売などを行っています。また、令和元年に樹下庵診療所（児童精神科）も開設しました。

家庭学校ならではの  
取組みは？

子どもたちと家庭学校職員、望の岡分校教員が一体となって作業班学習を行っています。野菜・園芸・山林・校内管理・酪農のいづれかの班に属して、「流汗悟道」の精神でともに汗を流すことにより、子どもたちは達



静かな森の中に建てられた礼拝堂は、北海道の有形文化財にも指定されています。見学は自由ですが、お越しの際は、一言声をかけてください。

子どもたちとの生活でうれしいこと、大変なことは？  
入所してきた時は、「この子大丈夫か？」と心配だった子が、徐々にここでの生活になじみ、生き生きと成長していく姿を見ることが、退所した後、新しい場所でがんばっている様子を聞いた時はうれしいですね。大変なのは職員の確保です。特に家庭学校は※小舎夫婦制を基本にしているのので、寝食をともにし

礼拝堂や博物館、豊かな自然などもあり、地元の方々にも気兼ねなく訪ねて来ていただきたいですし、その際には子どもたちががんばっている姿も見えていただきたいですね。家庭学校は観光施設ではありませんが、これからは地域に開かれた施設として運営していきたいと思っています。

また留岡幸助は、「能く働き、能く食べ、能く眠る」という規則正しく健康的な生活を送ることが大事だと唱え、私たちはその伝統を守っています。

町や議会に対して  
要望は？

これまでもさまざまな形で支援をいただいています。家庭学校は、町の歴史があると考えると、今後いろいろな面で相談をさせていただきたいです。

成感を得たり、社会性や協調性を育んでいきました。また子どもたちと生活をしている。家庭学校では、一つ一つの寮に夫婦の職員が寄り添って働いてくれる寮担当職員が確保が難しく大変です。

今月の表紙

今月の表紙は、太陽の丘えんがる公園虹のひろばで行われた生田原、安国、丸瀬布、白滝保育所の秋の遠足の様子です。汗ばむくらい快晴の中、子どもたちは広い園内を元気に走り回ったり、コスモスの前で記念写真を撮ったりしていました。

また、子どもたちは園内を走るミニ新幹線にも乗車。笑顔で引率の先生に手を振る子や、乗り物が怖くて泣きだしてしまいう子もおりました。

えんがる議会だより 第68号  
令和4年11月1日発行  
発行／遠軽町議会  
〒099-0492 遠軽町一条通北3丁目  
編集／遠軽町議会広報特別委員会  
印刷／(株)遠軽新聞社